

牧之原市長 西原茂樹 様

「地域医療のあり方について」の提言書

市議会文教厚生委員会では、昨年11月から「地域医療について」を所管事務調査事項として調査研究を進め、これまでに榛原医師会、榛原歯科医師会との市民会議の開催、また先進的な県外病院の視察を行うなどして、地域医療の問題点等について現状把握に努めてまいりました。

今後、少子高齢化が急速に進展する社会情勢の中で、将来にわたり市民がより安心して暮らしていくために、地域医療の充実は、ますます重要なこととなりますが、現状では残念ながら多くの課題を抱え、多くの市民が不安を感じているのが実態であります。

よって、文教厚生委員会では、市民の安心のために「地域医療はどうあるべきか」「地域医療を守っていくために取り組むべきこと」について、現時点で一定の考え方をまとめましたので、次の通り提言いたします。

平成26年12月19日

牧之原市議会 文教厚生委員会

1 医療体制の充実について

現在の榛原総合病院の医師数は、経営不振に陥った平成21年当時と比較しても6割強ほどの人数で、市民の多様な医療ニーズに応えることが困難な状況になっている。

去る10月1日に榛原総合病院内で開催された議員合同説明会の資料によれば、徳洲会の病院では、当初、グループを挙げて関連の医師を派遣するなど、強力なバックアップを表明しているが、徐々に個々の病院で自立していけるような医療体制の充実が求められている。

また、今後、専門医制度見直しなどにより、徳洲会グループとしては、これまでよりも医師確保が困難な状況になることが予想されている。

これらの状況のなか、榛原総合病院組合を構成している両市町では、首長等関係者の尽力により、医療体制の充実を図っていくとのことである。

しかしながら、医師確保が困難であるとの報告がされている現状においては、「中長期的な病院経営」や「医療体制構築のための医師確保」に向け、早急に医師確保のスキームの構築を協議・検討する「委員会等」を設置する必要があると考える。

2 医療の役割分担と連携について

当地域には、地域医療の中核をなす榛原総合病院を中心にして、開業医、歯科開業医による医療機関がある。

かつては、榛原総合病院の医師が地域で診療所を開設して、病院との良好な関係の中で、それぞれ一次医療、二次医療としての役割分担が機能した医療サービスが住民へ提供されてきた。

しかしながら、現在では、地域の中核である榛原総合病院と開業医の間での連携が十分とは言えず、医療分担が明確にされていないのが現状である。

今後は、地域の限られた医療資源を有効に活用し、診療所と病院の本来の役割・機能を明確にするため、地域の医療機関が連携して、医療サービスを提供する体制・ネットワークを構築すべきである。

さらに、医療圏の垣根を越えて、実際の患者動態に即した広域医療連携を実現し、「地域全体で患者の健康を守る」医療体制の構築について検討する必要があると考える。

3 これからの地域医療のあり方を考えるうえで

(1) ジェネリック医薬品の使用について

病気やケガの時などお互いを助け合う国民保険は国民保険税で支えられているが、市民の高齢化、生活習慣病などの増加、医療技術高度化などの要因で、年々医療費は増加し市民が負担する国民保険税も増加している。

増え続ける医療費を削減することは、市民が負担する国民保険税の上昇を抑制することに繋がるが、その手段としてジェネリック医薬品の使用を促進する必要がある。

ジェネリック医薬品の選択は、自己負担の軽減だけでなく、医療費全体の抑制にもつながることから、使用促進に向けて、「利用差額通知」などの事業について検討する必要があると考える。

(2) 歯科条例の制定について

歯と口腔の健康は、身体全体の健康を維持していく上で、大変重要な役割を果たしている。市担当課は、このことを充分認識して市民の歯科口腔保健の推進に取り組んでいるということで、市内外からの評価も高い。

しかし、更に歯科口腔保健の推進に関する施策を総合的に推進するためには、歯科疾患の予防等による歯科口腔保健の推進に関し、基本理念や市の責務等を明らかにするとともに、歯科口腔保健に関する施策の基本となる事項を定めること等が重要と考える。

よって、市民の口腔健康保持・増進の拠り所となる「歯科条例」制定について検討する必要があると考える。

(3) 榛原総合病院の展望レストランについて

病院の展望レストランからは、市内の街並み、遠く駿河湾や伊豆半島を望むことが出来てたいへんに素晴らしい眺望である。

しかし、展望レストランを利用する人は数少なく、その経営状況も心配するところである。

そこで、病院最上階からの素晴らしいロケーションを活用して、広く市内外の人が利用できるレストラン経営の支援体制について検討する必要があると考える。